

## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称  
令和5年度第1回美里町在宅医療介護連携推進会議
- 2 開催日時 令和5年8月2日（水） 午後6時30分から午後8時まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センター 1階 大広間
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委員  
野田清一委員、高橋均委員、吉村英晃委員、佐々木義夫委員、永澤もとえ委員、  
伊藤恵委員、三浦禎委員、尾形文克委員、高橋ゆかり委員
  - (2) 事務局  
相原浩子、千葉雅子、小林公美
  - (3) その他  
美里町町民生活課課長補佐 佐藤千賀子  
美里町健康福祉課健康推進係 及川紗希  
涌谷町福祉課包括支援班 工藤尚美、中野目裕美
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別  
議事
  - (1) 令和5年度美里町在宅医療介護連携推進事業計画について
  - (2) 美里町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画における、  
在宅医療介護連携推進事業について
  - (3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
- 6 会議の公開・非公開の別  
公開
- 7 傍聴人の人数  
0人
- 8 会議資料  
別紙のとおり

## 9 会議の概要

○事務局（千葉） 定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第1回美里町在宅医療介護連携推進会議を開会いたします。長寿支援課長の相原よりご挨拶申し上げます。

～挨拶～

○事務局（千葉） それでは始めに、委員の変更がございましたのでご報告します。やまと在宅診療所大崎の医師、辻薫菜子委員が、新しく委員として就任いただいております。なお、辻委員より、本日は都合により欠席するとのご連絡をいただいております。続きまして、本日もご出席いただいております委員の皆様を、事務局よりご紹介いたします。

～委員の紹介～

次に、本日出席しております事務局の職員を紹介いたします。

～事務局職員の紹介～

次に次第の2です。ここから、座長の野田委員に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○野田座長 それでは次第の2。議事録署名人及び、会議書記の選出ですけれども、事務局案はありますか。

○事務局（千葉） それでは事務局から提案させていただきます。会議録署名人の選出につきましては、本日もご出席いただいております伊藤恵委員と吉村英晃委員のお二人にお願いできればと思いますので、提案をさせていただきます。また会議書記ですが、事務局の長寿支援課の小林公美技術主査が務めることを提案させていただきます。

○野田座長 ただいまの事務局の提案について、よろしいでしょうか。

（はいとの声あり）

では、事務局から提案のありましたお二人に、会議録署名人をお願いしたいと思います。会議録は事務局でよろしくお願ひします。続きまして次第の3報告に入ります。

（1）、大崎薬剤師会作成血圧管理手帳について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（小林） 昨年度、委員の皆さんからご意見をいただき、大崎薬剤師会と一緒に血圧管理手帳を作成しました。今年度、健診会場や介護予防の教室や地域でおこなっている、「いきいき100歳体操」に通っている方々に配布し、活用していただいております。町内の調剤薬局や介護サービス事業所にも配布しております。町民の皆さんから、「使いやすい」「もっと欲しい」との感想をいただいております。自分の健康を管理するツールとして使っていただけるよう、来年度以降も検討したいと考えております。

○野田座長 ただいまの説明で、何かご質問、ご意見あればお願いします。

○事務局（小林） 高橋均委員さん、薬局での配布状況や実際使ってみて町民の反応などありますでしょうか。

○高橋均委員 まだ始まったばかりの事業ですが大崎管内の市町で順番に作成していて、使いやすい手帳だと思います。自分の血圧を測定し記録を付けていくことで、自分の体調を知る、管理する習慣づけに使って欲しいと思います。

○事務局（小林） 配布するだけではなく、自分の血圧を知っておくことが大事だという事をお伝えしながら、うまく活用できるように、検討していきたいと思います。

○野田座長 それでは、次第の4議事に入ります。(1)について事務局からお願いします。

○事務局（小林） それでは、(1)令和5年度美里町在宅医療介護連携推進事業計画についてご説明させていただきます。

～資料1、2を説明～

○野田座長 ただ今の説明で、ご質問、ご意見があればお願いします。

○佐々木委員 健康というのは心身のバランス取れていかないと駄目なのではないかと思えます。心のケアについての取組も大切だと思いますが、何か考えはありますか。

○事務局（小林） 佐々木委員のおっしゃる通り、心の健康も大事だと思います。今年度から実施する、70歳の方への質問票の中にはこころの状態を把握する項目もあり、返信結果で心配な状態の方には声をかけようと考えています。認知症対策についても、精神保健相談事業も活用しながら相談に対応していますので、引き続きメンタルケアも含めて取り組んでいきたいと思えます。

○三浦委員 地域ケア個別会議ですが、通いの場利用者の方にはどのような形のアセスメントをするのでしょうか。

○事務局（小林） 通いの場には、社会福祉協議会の相談員が定期的に入っていますので、相談員が気になる方、一緒に活動している地域の方、区長さんなどからの情報で事例検討を行いました。細かい医療情報等は難しいかもしれませんが、できる範囲で情報を集めて検討できればと思っています。1回目を実施した際は、担当のケアマネジャーがいる方でしたので、ケアマネジャーと一緒に振り返りをしました。

○三浦委員 その方の全体像を把握する事が大事だと思います。人の繋がり部分がすごく大事な事だと思います。皆さん色々なエピソードを抱えていて、人の繋がりが切れていく事が原因で生活機能が低下するということがよくあります。フレイルサイクの背景として、ほとんどが人の繋がりの途切れてしまう時です。その辺のアセスメントがしっかりできれば、いい会議になるのではと思います。運動とか機能を見るというよりも、人との繋がりというものを重点的に見ていったほうがいいのかと思います。

○事務局（相原） 三浦委員からお話いただいた、人との繋がりに関連して、地域の皆さんの方から「気になる人」としてあがってくるかどうかという問題があります。行政区や地域で「気になる」と思ってもらえるように、こちら働きかけが必要かと思えます。どうして気になったのか、会議にかかる前に状況を確認して、検討してから関わる必要があると思えます。

○高橋ゆかり委員 会場で出席名簿をつけてもらっているのですが、そうするとお休みが続いている人に気づく事が出来、「帰りに寄ってみる」という声もありました。地域の人、参加者同士で気に掛けることが自然とできています。

○野田座長 100歳体操への参加は、地域の高齢者すべての方に声掛けしているのですか。

○高橋ゆかり委員 その地域によってやり方はバラバラで、感染症対策の関係で人数制限

をしたいという意図で75歳以上としている地域もあれば、誰でも来て良いとしている地域もあります。参加者も、とても元気な方もいれば集会所に来るのがやっとという方もおり、身体能力を見ればかなり差があります。

○野田座長 他にご意見ありますか。なければ次に移ります。(2)について事務局からお願いします。

○事務局(千葉) それでは、(2)美里町高齢者福祉計画及び、第9期介護保険事業計画における、在宅医療介護連携推進事業の方向性について、ご説明させていただきます。

～資料3、4、参考資料1、2について説明～

○野田座長 ただ今の説明で、ご質問、ご意見があればお願いします。

当初多職種連携で、情報の共有化、特に医療との連携が難しいので、いろいろ試行錯誤された時期がありました。現状はうまく連携できているでしょうか。伊藤委員いかがですか。

○伊藤委員 連携できるどころとできないところがあるというのが現状だと思います。大きい病院、個人病院、それぞれの事情があるので、訪問看護ではその事情を把握した上で、対応させていただいています。先生方も資源だと思っているので、住民の方々が安心していただけるように、訪問看護事業所の職員が繋いだり、調整したりという役割を担っているのかなと思っています。

○野田座長 サマリーを申し入れたいなと思ってお願いしても、すぐには出てこないこともありますね。

○伊藤委員 主治医面談などを受けてくれることもあるので、そういうところでは共有できますが、医師が忙しく難しいこともあります。ケアマネジャーが受診同行をしてくれることが多いので、ケアマネジャーから情報もらい、うまくチームで情報を共有しています。

○事務局(相原) この事業が始まる頃は、病院との情報共有が難しい時代だと思いますが、今は先生方も必要に応じてケアマネジャーに対応していただいたり、カンファレンスに呼んでいただいたりと、可能な範囲では、以前よりも連携できていると思っております。ただ、先ほど伊藤委員もおっしゃったとおり、病院の組織や人員の事情もあり、全てをこちらの望みどおりにというのは難しいですが、私たちの工夫次第ではいろいろな連携ができる時代になったと思っております。

美里町として、目標とする「町民が望む生活」を考えた時に、自宅で亡くなりたくないという希望を叶えることはできないかも知れないけれども、そこに向かって私たちができること、医療をうまく生かすための、私たちの関りなどを、介護事業所と一緒に考えていければという思いがあります。委員の皆様方がどんなふう感じられているか、ご意見を聞けると大変ありがたいです。

○尾形委員 町内の施設は沢山あるように見えますが、中で働く職員は不足していると感じています。定員一杯まで受け入れできていない現状もあります。

自宅での看取りには医療だけでなく訪問介護の力も大事ですが、希望する方のところにサービスに入れていないケースが増えてきているのではないかと思います。介護事業所は介護報酬しか収入がないので、何らかの支援がないと従業員の賃金も簡単に上げられないの

で、かなり厳しい状況です。

○野田座長 施設への入所希望者も増えているのでしょうか。

○事務局（小林） 施設入所についての相談もあります。様々な家庭の事情や金銭的な面で、皆さんが施設に入ることができるわけではないため、どのような支援が良いのか私たちも一緒に考えて相談している状況です。

○尾形委員 実際に永澤委員さんの訪問介護事業所ではどのような状況でしょうか。

○永澤委員 在宅で過ごす方も増えてきているので、要望は増えています。人員不足は常にありますが、サービス内容を整理すると、介護福祉士などの有資格者が本来の力量を發揮できるような、重度の方の介護は少なく、一方で軽度の方たちの、ゴミ出し、買い物、通院介助のようなサービスの希望がとても多い状況です。要支援の方を対象とする訪問介護事業所が少なく、対応できる事業所に利用希望が集中するため困っているところです。地域によっては住民の皆さんで相互にゴミ出しや、買い物支援をして、うまくいっている地域もあり、隣近所の関係性が良い地域と良くない地域と差は出てきていると感じます。元気な高齢者の皆さんが活躍できるような場面を作り、うまく回していければ、介護保険に頼らずにまだまだできることがあると思うので、その分資格を持ったヘルパーは、在宅で過ごしたいという本当に介護が必要な人に、十分な支援ができるのではないかと感じています。

○野田座長 介護保険の審査会に出席していますが、要支援認定の方が非常に多いですね、ヘルパーへの依頼がゴミ出しなど軽度の支援が多いのですね。

○高橋ゆかり委員 元気な高齢者の方々が活躍してくれるといいという永澤委員の話がありました。社協でもちょっとした困りごとに対応できるような人材の養成はしているのですが、その方たちの活躍の場がないことが課題となっています。受講した方々が、住民主体で、生活支援、支え合い活動のような形で、ゴミ出しなどちょっとした困りごとの支援をしてくれるようなグループを立ち上げられればと思っているのですが、「お手伝いならよいがリーダーは嫌」という方が多い状況です。リーダーを育てていかなければいけないのかなと感じています皆を引っ張り、調整もできるようなリーダーが少ないと感じます。

○事務局（相原） 資料3の方で、理念や目標を提示させていただきました。介護保険事業計画の策定委員会ではこの目標に沿ってやっていく方向でいいのではないかというご意見をいただいたところです。その上で、この理念や目標を達成していくために、在宅医療介護連携事業はどうしていったらよいか、今回方向性を提案させていただいたところです。この方向性でよいか、他に検討した方がよいものがあるかなど、ご意見をいただければと思います。先ほど尾形委員から話のあった介護人材不足の問題や、永澤委員から話のあった軽度の訪問介護の問題については、検討課題として挙げていたので、ぜひ進めていきたいと思っています。3年間であまり盛沢山の事はできない中で、町民や介護事業所の皆さんにも美里町の町民がどんな事を思っているのかを伝えながら、規範的統合をはかり、考えを一致させていきながら、提示した方向性でやっていければと思うのですが、いかがでしょうか。

○三浦委員 今の在宅医療介護連携の方向性は、四つの視点で見ていくという話になっています。3年の中での看取り支援なのか、或いは緊急時対応なのか、退院時支援なのか、美里町の課題として、どこに重点を置いてやっていけばいいのかという見方をして、看取りの体制というのは実はまだよく把握できてないということなのであれば、そこに絞って現状把握をして、どういう体制を作っていこうか考えるという方向もあると思います。

○吉村委員 看取りについてですが、美里町内の先生が在宅看取りをしてくれる医療機関は何件くらいあるのでしょうか。

○伊藤委員 南郷病院や件数は少ないですが美里クリニックがあります。他には大崎市の穂波の里クリニック、やまと在宅診療所、古川民主病院などがあります。

○吉村委員 医療資源は、周りには沢山あっても美里町には少ないのではないかと思います。開業医の先生方に、在宅看取りについて働きかけも必要なのではないかと感じます。訪問看護ステーションと連携して、チャレンジしてみませんか。看取りができないために医療機関を変える人もいるので、地域の中で過ごしていることになるのか疑問に感じる場合があります。地域で支え合うというのはとても良い目標だと思います。一方で、高いハードルであるとも感じます。地域で支え合えるのが一番いいと思いますが、地域には高齢者しかいないという現実もあります。そこで何ができるかと言うと、見守りや私たち介護事業所が地域と連携してやっていくことなのかなと思います。そこで望む生活が少しでも近づくようになればいいのかなと。私たち介護事業所が、利用者さんと家族だけでなく地域の人に顔を覚えてもらいたいと思っています。今は介護保険のサービス利用を始めると、その人と地域の人と離れてしまう事が多いので、そういうところを少しずつ変えて、みんなで支えられるといいのかなと。こういう会議にも、住民や利用者さんの家族、困っている認知症の人が参加できれば、住民の視線に合わせた対応ができるのではないかと思います。

○高橋ゆかり委員 美里町の現状の数値的なデータと、地域の人達の声と比較してみると、また見えてくる課題もあるのではないかと思います。

○伊藤委員 自宅で最後を迎えたいとは思っているけれど、実際に自宅での看取りを選択する人がどれくらいいるのか、把握も必要なのではないかと思います。病院に行くよりは施設の方がいいんじゃないか、施設の方が自宅により近いんじゃないかという漠然としたイメージでなんとなく選んでいるということはあると思います。訪問看護に行っていて、最後は自宅で亡くなりたいと言っていたけれども、本当に苦しくなって、病院の方の安心となり、最後には入院することを希望する方もいます。一方で、自宅や病院ではなく施設に行きたいという人が、施設職員の人材不足などで入れる施設がない状況であれば、問題なのかなと思います。希望と現実の照らし合わせも大事かなと思います。

○三浦委員 必ずしも自宅じゃなくてもいいのではないかと思います。要はそこに医療スタッフと介護スタッフがいれば、例えば有料老人ホームで家族・本人の了解のもと、看取りを迎えるというのもあると思います。看取りの体制を整えてくれる施設があるのであればいいなと思います。

○伊藤委員 看取り希望だった方がやっぱり病院というケースもありますが、それがその方の最後の希望だったらそれでいいですね。

○事務局（相原） 私たちも自宅か施設かと決めたいわけではなく、最後の最後に本人や家族が迷う状況になった時に、一緒に考え、選ぶ資源があるといいなと思っています。

そのためには、美里町の状況や、介護事業所の受け入れ態勢はどうか一緒に確認していく、町民の声を聴いていくことが必要だと思います。この会議の持ち方も、町民の方や現場の介護事業所の意見を聞けるような、現状確認をしながら、できることを考えていけるようなかたちに変えていけるとよいのではないかと考えています。三浦委員からも話があったように、四つの視点の中で、美里町はどこに重点を置くのか、町民の方や介護事業との情報共有をどう3年間でやっていくか、次回の会議までに、もう少し整理し、そこでまたご意見をいただけるといいかと思いますが、いかがでしょうか。

○野田座長 今回の形の会議では町民が入ることは難しいですね。

○事務局（相原） 今回の委員さんとは他の場面でもよくお会いしている方々が殆どでもあり、そこでご意見をもらう場面も沢山あるので、改めて夜に集まっていただく今のような会議の形ではない方法で、ご意見をうかがうのでもいいのではないかと考えています。

○野田座長 会議のあり方も含めて検討が必要かもしれませんね。他になければ、これで議事を終了します。事務局お願いします。

○事務局（千葉） 委員の皆さんからいただきましたご意見をもとに、また次回の会議までに少し整理したいと思います。また、第9期計画での事務事業の展開についても、もう少し検討していきたいと思っています。ありがとうございました。

それでは次第5 その他としまして、(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について健康福祉課の及川より説明します。

○事務局（及川） (1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について説明します。  
～資料5について説明～

○事務局（千葉） ただいまの説明に関しまして、ご質問等あればお願いします。

なければ、次第の7閉会です。

本日も貴重なご意見をたくさんいただきまして、ありがとうございました。次回の会議につきましては、10月頃を予定しております。

委員の皆様には開催前に日程の確認をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

以上をもちまして、令和5年度第1回美里町在宅医療介護連携推進会議を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_